

あの父娘、な〜んか、あるのよね。



# 秘ヒミツ密

広末涼子 小林薫

石田ゆり子 金子賢 伊藤英明 篠原ともえ 岸本加世子

原作／東野圭吾 (文藝春秋刊) 監督／滝田洋二郎 脚本／齊藤ひろし 主題歌／「天使のため息」竹内まりや 音楽／宇崎竜童

製作 児玉守弘 企画 原田俊明 エグゼクティブプロデューサー 間瀬泰宏 プロデューサー 田上節朗 進藤淳一

撮影 栢野直樹 照明 長田達也 美術 金田克美 録音 林大輔 編集 富田功 VFX 曾利文彦 ラインプロデューサー 福島聡司 サントラ盤 ワーナーミュージック・ジャパン

製作／TBS 製作協力／フィルムフェイス 配給／東宝

©1999 TBS 2017年2月

サヨナラは、二度目の方がずっと切ない。

# “こんな切ない秘密につつまれた ラブストーリーがあったらどうか。”

○ 日本推理作家協会賞受賞

○ 「本の雑誌」が選ぶ日本ミステリー'98 堂々の第1位!

## 秘密

ミステリーの枠を超えて各方面で大きな反響をよんだ東野圭吾原作「秘密」(文藝春秋刊)。

昨年度のミステリーベストテンでトップランクを獲得、直木賞候補にも挙げられ、

また第52回日本推理作家協会賞を受賞するなど、今、最も注目を集める作品と言えます。

### story

「本当にあたし、直子なのよ。  
信じられないのはわかるし、あたしだって信じられない…事実なのよ。」

妻と娘に囲まれ満ち足りた杉田平介の生活は突然終りを告げた。

妻・直子と娘・藻奈美が乗ったスキーバスが崖から転落したのだ。病院に運ばれた妻は息を引き取り、一方の娘は一命を取りとめるが、意識が戻った娘の人格は、なんと妻だった!

「エッ! 娘が妻! ?」そして始まるコミカルで切ない“娘との夫婦生活!”

妻を失った親子という世間体は保ちつつ…

突然17才の娘になったことで、そのギャップに戸惑いながらも、もう一度10代をやり直すことに新鮮さを感じる妻。一方の平介は、外見上は独身なので言い寄る女性が現れたりするのだが…、妻の手前、浮気も再婚もしない(出来ない!)。

二度目の青春を謳歌する直子に対し、疎外感に悩まされる平介。

お互いの想いがすれ違う中、二人はどうしても超えられない壁に行き詰まる。

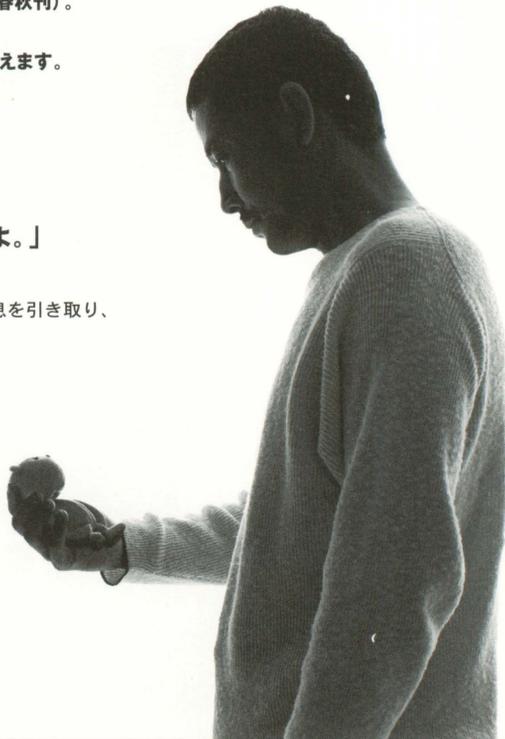
夫婦として愛し合うことは、やはり出来ないのか。

しかし、バス事故の意外な真相が二人に大きな転機を与えた…

“自分の愛する人にとって、本当の幸せとは?”

夫と娘の肉体の間で悩む妻を見ながら、平介は大きな決断をする。

そして、運命は、思いがけない結末に二人を導いて行く…



今回の映画化には、最高のスタッフ、キャストが実現しました。

監督にはコメディからシリアスまで幅広い演出で才気を見せる滝田洋二郎。そして「SF サムライ・フィクション」等で定評のある斉藤ひろしが脚本を担当します。また宇崎童童が音楽を、竹内まりやが主題歌にオリジナルソング(編曲/山下達郎)を提供することも大きな話題となっています。

キャスティングは、主人公・杉田藻奈美(直子)役を、若手ナンバーワンの広末涼子が本格的な主演作として演じ、精神は妻で、体は娘という微妙かつ複雑な役どころに挑みます。また、父親・杉田平介役は、卓越した演技を魅せる実力俳優・小林薫に決定。“妻なのに娘!?”という夫婦関係を時にはコミカルにそして切なく演じます。

“相手にとっての本当の幸せとは何なのだろう。”

今回の映画化の魅力は“笑い、涙、驚き、そしてさわやかな感動”をモチーフに、原作のテイストを最大限に生かして展開するストーリーテリングの面白さにあります。物語は、信じられないような夫婦(親子?)関係を縦軸に、いろんな方面で「愛」の在り方を模索していきます。

そして、もう一つの魅力は… タイトル「秘密」自体に込められたその意味にあります。昨年、物語のラストに明かされる「秘密」のインパクトが文壇でも大きな話題を呼びました。今秋、滝田・斉藤の名コンビが独特の世界観と映像で、その秘密をスクリーンに描き出します。

製作TBS・原作文藝春秋がおくる、この秋一番の話題作「秘密」にご期待ください。



'99年9月25日(土)より全国東宝系ロードショー!

JRきんし町駅前・楽天地ビル  
03 (3631) 7020  
錦糸町シネマ8楽天地

六区映画街  
03 (3844) 3141  
浅草東宝